



建交労

2021年9月1日 No.1

全日本建設交運一般労働組合 中央本部

2021年秋年末闘争・拡大月間推進ニュース

オンライン併用で第23回定期大会を開催 団結を強化し、コロナ禍に負けず奮闘しよう!

8月28日(土)～29日(日)の日程で、建交労第23回定期大会を群馬県ホテル磯部ガーデンにて開催しました。

主催者あいさつを行った角田季代子中央執行委員長は、「コロナ禍で菅政権の強権と無策ぶりが誰の目からも明らかになった1年でした。緊急事態宣言を発しながら、オリパラ開催を強行して、更なる感染者を作り出し、またしても医療関係者を苦しめ、非正規労働者から職を奪い、国会では悪法を積み重ね国民生活を悪化させています。」続いて、

「秋闘では要求アンケート集約、組織活動の強化を推進し、要求闘争では実利獲得に力を結集しましょう。そして秋の総選挙で政権選択のチャンスを迎えます。中央執行委員会は決議を上げ、立憲野党への申し入れを実施します。建交労全体で総選挙キャンペーンにもとりくみます。一緒に政治を変えとりくみを広げましょう」と呼びかけました。



組織拡大で表彰された支部・県本部の代表者たち

各県本部・支部、業種部会や青年部の仲間たちが元気に語られ、コロナ禍においても困難な闘いに挑み、各職場、地域で労働組合の姿を見せるとりくみの重要性に確信を深め合い、運動方針は補強されました。最終日に全ての方針を採択し、スト権を確立しました。最後に角田委員長の発声で団結がんばろうを三唱し、大会を終えました。(※定期大会の詳細は建交労雑誌版10月号に掲載されます。)



開会あいさつをおこなう角田委員長

今大会は、コロナ禍での開催の為、会場内での感染防止を徹底し、大会日程を短縮し、オンライン併用で開催しました。

初日の廣瀬書記長による2021年度運動方針等の提案にもとづき、1日目25人、2日目討論12人「計37人」が発言しました。

討論では「春闘など経済闘争の推進、組織拡大、職場争議のとりくみ、改憲阻止・反核平和活動のとりくみ、原発なくせ」など、